慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	「慰め発話」における慣用表現の使用
Sub Title	
Author	田中, 妙子(Tanaka, Taeko)
Publisher	慶應義塾大学日本語・ 日本文化教育センター
Publication year	2014
Jtitle	日本語と日本語教育 No.42 (2014. 3) ,p.113- 124
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	調査報告
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00189695-20140300-0113

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学　日本語・日本文化教育センター紀要
『日本語と日本語教育』42：113–124（2014.3）

「慰め発話」における慣用表現の使用

田　中　妙　子

1.　研究の目的

本研究の目的は、「慰め発話」、すなわち相手を慰めるために行われる発話を、そこに現れる表現形式の面から分析し、得られた知見を日本語教育における会話の指導に応用することである。

田中（2012）では、相手を慰めるという表現意図で発話をする際、どのような方策を用いるか、またそこにはどのような表現形式の特徴が見られるかということを総論的に扱った。次いで、田中（2013）では、特に文末表現に注目して「慰め発話」にはどのような表現特徴があるかを分析した。慰め発話の表現形式は多岐にわたり、パターン化することは難しいが、一方で多用されるいくつかの表現形式が存在することが明らかになった。

本稿では、次の課題として、「慰め発話」における定型表現は何かということを考えたい。例えば「依頼」「謝罪」等、研究が比較的進んでいる発話行為については、その発話行為を一つの句や文で端的に示す定型表現が、研究においても教育現場においてもある程度の共通認識をもって扱われている。例えば、依頼では「お願いします」「頼みます」等、謝罪では「すみません」「ごめんなさい」等が典型的である。しかし、慰めという発話行為の定型表現は一般に定まっておらず、日本語教育の教材でも岡崎ほか（1988）、中居ほか（2005）等を除き、ほとんど扱われていない。そこで、本稿では、「慰め発話」の定型表現を考える手がかりとして、「慣用表現」、すなわちある決まった言語形式を持ち、慰めるという発話行為のために多用される表現を調査・分析した結果を報告する。「慰め発話」において頻繁に現れる表現を調査し、その特徴を明らかにすることで、会話教育への応

用に役立てたいと考える。

2. 「慰め発話」の定義

本研究では、「慰め発話」を「会話において、悲しみ・不安・不満・後悔など、何らかの負の感情を持っている相手に対し、その負の感情を和らげる、あるいは解消させることを目的として行う発話」と定義する。

3. 使用する資料と調査対象

資料として、稿末に挙げたテレビドラマのシナリオを用いる。その中から「慰め発話」として採集した全 394 例を母集団とする。「慰め発話」は一文のみの場合、一つの発話ターンの中の複数の文の場合、複数の発話ターンにまたがる場合がある。

上記の母集団から、意味的・形式的に同一、または類似しており、母集団の中に 2 回以上現れている句または文を「慰め発話」の慣用表現として抽出する。

4. 調査の方法

第 3 節で述べた条件に基づいて抽出した慣用表現を、表現そのものの特徴、およびその表現とともに用いられる表現の特徴という点から分析する。

5. 結果

5-1 「慰め発話」における慣用表現の用例数

「慰め発話」における慣用表現の用例数は表 1 のとおりである。それぞれの表現は形式上のバリエーションを持つが、それらを意味や形式の共通性によってグループ化し、普通形の表現で表示する。

なお、一つの「慰め発話」の中で同じ、あるいは類似の表現を 2 回重ねて使っている場合は、2 例として数えている。

〈表 1〉

1	大丈夫だ	24 例
2	そんなことはない	23 例
3	わかる	17 例
4	気にするな	13 例
5	仕方がない・仕様がない	11 例
6	大変だ	9 例
7	いい・よかった、安心しろ、心配するな・心配ない	7 例
8	気の毒だ、頑張った、焦るな	5 例
9	大丈夫か、責任はない、違う	4 例
10	うれしい、えらい、すてきだ、ひどい、馬鹿だ、信じる、疲れた、そういうものだ、やめろ、忘れろ、落ち込むな	3 例
11	まだ早い、当たり前だ、かわいそうだ、考えすぎだ、これからだ、ラッキーだ、災難だった、ありがとう、関係がない、何を言うのか、そんなことはしない、どうってことはない、気を落とすな、悩むな	2 例
	合計	118 例

第 2 位の「そんなことはない」は、単独では「慰め発話」と言いにくいが、会話の中で用いられる際、相手の負の感情の原因となっている認識を「その認識は正しくない」というように否定して慰めるという方策に用いられるため、ここでは慣用表現の一つとして扱った。

5-2　各表現のバリエーション

5-1 表 1 で 1 位から 10 位までの各表現のバリエーションは表 2 のとおりである。11 位のものは表 3 にまとめて記す。以下、表 1、表 2 に記された表現を慣用表現と呼ぶ。

〈表 2〉

大丈夫だ	大丈夫／大丈夫だ／大丈夫ですよ／大丈夫よ／大丈夫だから／大丈夫や（方言）
そんなことはない	そんなことはない／そんなことはないさ／そんなことないさ／そんなことありません／そんなことありませんよ／そんなことないよ／そんなことないわ／そんなことないの／そんなことはないと思うけどな／そんなことないって／そんな／そんなこたぁないよ／そんなこたぁないんだ／そんなことはなかよ（方言）
わかる	わかります／よくわかります／わかってます／わかるよ／わかるわ／わかっている／わかってる／わかってるわ／わかるけど、～／よくわかるけど、～
気にするな	気にしないで＋命令形・～なさいよ／気にしないでください／気にするな／気にするなよ／気にすんなよ／気にせずに（やっていけばいいんだ）／気にすることないよ／気にせんでええ（方言）／気にせんでええから（方言）
仕方がない・仕様がない	仕方がないよ／仕方がないさ／仕方ないね／仕方ないよね／仕方ないですよ／仕様がないよ／しょうがないわよ／しょうがないからね／しゃあない（方言）／しゃあないやん（方言）
大変だ	大変ですね／大変でしょう／大変だったな／大変だったわね／大変でしたね／大変だったんだな
いい・よかった	いいじゃないですか／いいじゃん／ええやないか（方言） よかった／よかったじゃない／よかったじゃないか
安心しろ	安心してください／ご安心ください／安心して／安心せよ（方言）
心配するな・心配ない	心配するな／心配しないでいい／心配しなくていいのよ／心配しなくてもいいから／心配ない
気の毒だ	気の毒に／お気の毒に／気の毒やったな（方言）
頑張った	頑張ったわよ／よく頑張った／頑張ってきたじゃない／頑張ってきたじゃないか
焦るな	（そんなに）焦らなくても／焦ることはないさ／（そんなに）焦ることないし／焦らんことだよ／焦っても、しょうがないからね
大丈夫か	大丈夫か／大丈夫ですか／だいじょぶ？
責任はない	（あなたの）責任じゃありません／責任なんかない
違う	違いますよ／違うよ／違うぞ
うれしい	うれしいよ／うれしかったよ／どんなにうれしかったか

えらい	えらい／えらいわよ／えれえな（方言）
すてきだ	すてきだよ／すてきだったよ／すてきでしたもの
ひどい	ひどいですよね／ひど／（そりゃ）ひでえ
馬鹿だ	馬鹿／馬鹿ねえ／馬鹿やろ
疲れた	疲れてるんだよ、疲れてるだけだよ、疲れたんや（方言）
信じる	信じるよ／信じるから／信じてるから
そういうものだ	（～って）そういうもんじゃないのかねえ／そういうもんさ（～って）／そういうもんだよ
やめろ	やめろよ／やめてください
忘れろ	忘れろ／忘れちまって＋命令形
落ち込むな	（そんなに）落ち込むことないよ／落ち込むことないじゃない／落ち込まんでええよ（方言）

〈表 3〉

まだ早いよ
当り前じゃないの、当たり前やんか
かわいそうだなあ、かわいそうなことしたなあ
考えすぎじゃない、考えすぎじゃないですか
（まだまだ）これからです、（まだまだ）これからでしょう
ラッキーでしょ、ラッキーな子だ
災難だったな、災難でしたね
（～てくれて）ありがとう
関係ないよ、関係ないわよ
何言ってるの、何を言うんですか
そんなことはしないよ、そんなことはしませんよ
どうってことはない、どうってことないよ
気、落とすんじゃないよ、気を落とすなって
悩むようなことじゃないの、（そんなに）悩むことはないの

会話教育の観点から考えると、文末の形式にも注目する必要がある。特に、下記の表現が特徴的である。

①～じゃないか／じゃない／じゃん

「頑張ってきたじゃないか」「よかったじゃない」「いいじゃん」「そういうもんじゃないのかねえ」「当り前じゃないの」「考えすぎじゃないですか」

②～し

「そんなに焦ることないし」

③～ことはない

「気にすることないよ」「焦ることはないさ」「落ち込むことないよ」「そんなに悩むことはないの」

④～から／からね

「大丈夫だから」「心配しなくてもいいから」「しょうがないからね」「信じてるから」

⑤～って

「そんなことないって」「気を落とすなって」

⑥省略

「そんな（＝そんなことはない）」「ひど（＝ひどい）」

5-3　慣用表現とともに用いられる表現

5-2 で取り上げた慣用表現がどのような表現とともに現れることが多いかを以下に述べる。それぞれの要素を文法の面から見ると、助動詞、副詞、接続詞等、様々であるが、頻出するパターンを含む会話をモデルとして提示することが会話教育では有効であると思われる。

5-3-1　理由表現

最も用例数が多いのは、理由表現である。典型的なパターンは「～から、大丈夫だよ。」「大丈夫だよ、～から。」という流れで、前者は慰めの根拠を述べた後に慣用表現で慰める形、後者は慣用表現で慰めた後にその根拠を述べるという形である。表現の種類と用例数は表 4 のとおりである。例としては次のようなものが挙げられる。

「大丈夫。命は、あるんだから」【幸福 282】
「僕…みんなが思ってるよりずっと長生きしてみせるよ。だから安心して」【4TEEN69】
「大丈夫だよ。アイツ、自分のことも、ちゃんとできるようになってきたし」【抱き 116】

「しょうがないわよ。蟇田君は、村に何の未練もないんだもん。」【合い言葉 249】
「気にしないで、丸山先生は口が悪いの」【海峡 146】
「でも、嬉しかったよ、ちゃんと話してくれて」【今夜 242】
「でも、良かったじゃない。変な病気じゃなくてね」【合い言葉 241】
「そんなことはしませんよ。だって、同じ人間じゃないですか」【さとう 27】

〈表 4〉

	～から	だから	～し	～もの ～もん	～んだ	～て ～なくて	だって
大丈夫だ	6	1	5	1			
わかる	1						
気にするな	1				1		
仕方がない・仕様がない	4			2	1		
いい・よかった					1	5	
安心しろ	3	2					
心配するな	2						
うれしかった				1		1	
えらい				1			
落ち込むな	2						
ありがとう	1					2	
そんなことはしない	1						1
悩むな	1						

5-3-2　将来に対する確信・自信を表す表現

将来起こるであろう事柄、あるいは将来自分で行うであろう行為を確信・自信をもって表すために副詞を用いる表現である。相手の問題が将来解決する、あるいは改善されるということを示して慰めるという方策に用いられる。今回の調査では表 5 のとおり「大丈夫だ」と共起する副詞のみが見られた。例としては次のようなものが挙げられる。

「大丈夫よ。きっとわかってくれるわよ」【抱き 143】
「大丈夫。勇は必ず無事で帰って来ますよ」【さとう 31】
「大丈夫よ。この部屋、すぐ元通りになるわ【海峡 176】
「大丈夫よ。思い出もいつかは風化するし」【不機嫌 223】
「大丈夫ですよ……ちゃんと御実家までお送りしますから……」【幽婚 19】

〈表 5〉

	きっと	必ず	すぐ	いつかは	ちゃんと
大丈夫だ	4	1	1	1	1

5-3-3　指示・助言の表現

慰めとともに、別の行為を指示・助言する表現である。表 6 のように、慣用表現自体の意味によって、接続関係が順接の場合と逆接の場合がある。例としては次のようなものが挙げられる。

「そんなこと気にしないで、もっと気を大きく持ちなさいよ」【男たち 157】
「早いとこ忘れちまって、次へ進め」【今夜 308】
「とてもよくわかるけど、人の目を気にせずにやっていけばいいんだ」【なぜ君 16】
「早く仕事に戻りたい気持ちも分かります。でもね、こういう時こそしっかり選ばないと」【薔薇 228】

〈表 6〉

	命令形	～なさいよ	～ばいいんだ	～ないと
気にしないで～	1	2		
気にせずに～※注			(1)	
忘れちまって～	1			
わかるけど～※注			(1)	
わかりますよ。でもね、～				1

※注:「気にせずに」「わかるけど」は一つの発話文の中に同時に用いられている。

5-3-4　条件表現

条件節の後に慣用表現が接続する形である。その条件が満たされた場

合、あるいは満たされない場合を仮定し、そこで成立する事態を述べて慰める。形は、表 7 のとおり「～ば」「～たら」「～ても」「～なくても」が見られた。　例としては次のようなものが挙げられる。

「大丈夫だよ、恵理花ちゃんのママから言ってもらえば、PTA の役員なんだし」【女王 248】
「好きな人が出来たら、仕様がないよ」【再会 71】
「怒ってもしゃあないやん」【ポンソン 315】
「ゆみちゃんは私がいなくても大丈夫だよ、キレイだし、スタイルいいし」【うぬぼれ 257】

〈表 7〉

	～ば	～たら	～ても	～なくても
大丈夫だ	1	1	1	1
仕方がない 仕様がない		1	1	

5-3-5　意外性を示す表現

表 8 のように助詞「なんて」「とは」を用いて、相手の問題に対する意外性、驚きを示すことにより、共感の気持ちとともに慰める表現である。例としては次のようなものが挙げられる。

「嫌うなんて、そんな」【生前 187】
「いじめられてたなんて、気の毒に」【リーガル 2 110】
「いやー、疎開先から出征とは大変でしょう。」【火垂る 148】

〈表 8〉

	～なんて	～とは
そんなことはない	3	
気の毒だ	1	
大変だ		1

5-3-6　矮小化の表現

相手の問題が実はそれほど大きな問題ではないという見方を示すことに

よって慰める表現である。ある事態を軽視する心情を示す表現を用いる。具体的な表現は表 9 のとおりである。例としては次のようなものが挙げられる。

「弁当ができないくらい、どうってことはない」【男たち 51】
「俺は君のドラマを見ることだけでもうれしいよ」【恋せ 212】
「そんなことで落ち込むことないじゃない」【男たち 279】
「でも、そんなに落ち込むことないよ。恋に悩むなんて人間だけなんだから」【不機嫌 190】

〈表 9〉

	～くらい	～だけでも	そんなに	そんなこと
落ち込むな			1	1
焦るな			1	
悩むな			1	
気にするな			1	3
うれしい		1		
ラッキーだ		1		
どうということはない	1			

6. おわりに

以上、「慰め発話」に多用される慣用表現の種類、および慣用表現とともに用いられる表現の種類について調査・分析した。

北口（2010）が述べているように、こうした表現を単独で提示しただけでは、「誰が、いつ、どこで、なぜ落ち込んでいるかという様々な状況に対して、どのような発話を用いて、どのように談話を展開していけばよいのかが分からない（p.167）」という問題があるが、談話展開を意識した会話練習の中に本稿の調査で得られた慣用表現とその使用パターンを生かすことは可能であろう。会話練習の一つとして、教師が典型的な表現を軸にしたモデルを提示し、それを学習者が模倣しつつ自分自身の意図する発話

に応用させていくという方法があるが、「慰め発話」のように展開に様々な形が予想される場合には、まずこうした慣用表現を用いた会話のモデルによって基本的な練習から始めることが有効なのではないかと考える。

用例資料

※以下、本稿に例を記載したものは【　】内に略称を記す。

鎌田敏夫（1987）『男たちによろしく』立風書房【男たち】
三谷幸喜（1998）『今夜、宇宙の片隅で』フジテレビ出版【今夜】
三谷幸喜（2000）『合言葉は勇気』角川書店【合い言葉】
古沢良太（2008）『シナリオ版キサラギ』白水社
宮藤官九郎（2010）『うぬぼれ刑事』角川書店【うぬぼれ】
古沢良太（2012）「リーガル・ハイ（1 期第 1 話）」『ドラマ』7 月号
古沢良太（2013）「リーガル・ハイ（スペシャルドラマ）」『ドラマ』5 月号【リーガル 2】
古沢良太（2013）「リーガル・ハイ（2 期第 1 話、第 5 話）」『ドラマ』12 月号
古沢良太（2013）『公式 BOOK リーガル・ハイ（1 期第 9 話、2 期第 3 話）』
日本脚本家連盟『テレビドラマ代表作選集』（1996 年版～2011 年版）
（1998 年版）下川博「生前予約―現代葬儀事情」【生前】
（1999 年版）市川森一「幽婚」【幽婚】
（2002 年版）山田太一「再会」【再会】／井出真理「幸福な部屋」【幸福】
（2003 年版）吉田紀子「抱きしめたい」【抱き】／長川千佳子「ポンソンファ」【ポンソン】
（2004 年版）遊川和彦「さとうきび畑の唄」【さとう】
（2005 年版）斉藤ひろし「4TEEN」【4TEEN】／池端俊策・神山由美子「海峡を渡るバイオリン」【海峡】／大森美香「不機嫌なジーン」【不機嫌】
（2006 年版）井上由美子「火垂るの墓」【火垂る】／遊川和彦「女王の教室」【女王】
（2008 年版）大石静「恋せども、愛せども」【恋せ】
（2011 年版）長谷川康夫・吉本昌弘「なぜ君は絶望と闘えたのか　後編」【なぜ君】／オカモト國ヒコ「薔薇のある家」【薔薇】

参考文献

関山健治（1998）「日本語の「慰め・激励」表現にみられる Politeness Strategy―話者の性別と社会変数による影響―」『白馬夏季言語学会論文集』第 9 号　http://sekky.tripod.com/97hakupa.html
黒川直美（2001）「日本語母語話者による「励まし」行為の特徴」横浜「言語と人間」

研究会 5 月例会研究報告
http://sekky.tripod.com/0105kurokawa.html
塩見式子・米澤昌子（2008）「「慰め・励まし」の様相―シナリオを例として―」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』18 号
北口信幸（2010）「「慰め」の言語行動―談話における「情報要求」発話に注目して」『日本語・日本文化研究』第 20 号　大阪大学日本語日本文化教育センター
中野友貴・正保春彦（2011）「励ましの言葉の受け取り方に関する一考察―発話群・発話期待群の比較から―」『茨城大学教育実践研究』30
田中妙子（2012）「ドラマのシナリオに見られる「慰め発話」の諸相」『日本語と日本語教育』第 40 号　慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
田中妙子（2013）「「慰め発話」の形式的特徴―文末表現を中心に」『日本語と日本語教育』第 41 号　慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター

日本語教科書

岡崎志津子・小西正子・藤野篤子・松井治子（1988）『ロールプレイで学ぶ会話（2）こんなとき何と言いますか』凡人社
中居順子・近藤扶美・鈴木真理子・小野恵久子・荒巻朋子・森井哲也（2005）『会話に挑戦！　中級前期からの日本語ロールプレイ』スリーエーネットワーク